

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

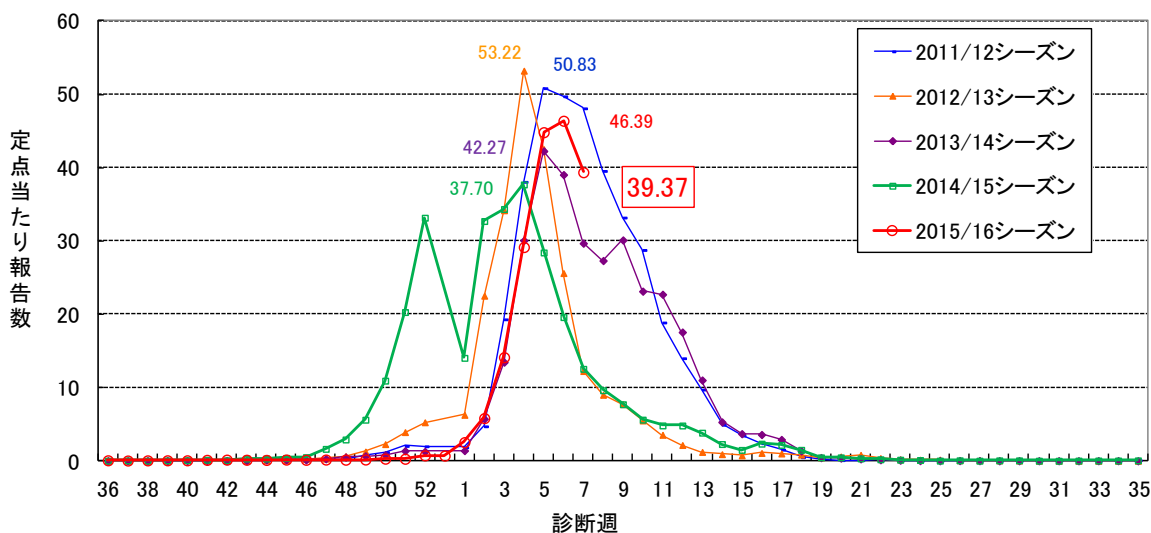
2016年7週の県全体の定点当たり報告数は、6週の46.39から減少し39.37となった。依然として報告数が多い状態が継続しており、注意が必要である。

保健所別では、16保健所中2保健所管内で増加し、君津(50.23)、印旛(46.67)、香取(46.50)、市原(45.45)、松戸(45.40)、海匝(43.57)で多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳34.6%、0～4歳18.2%、10～14歳15.7%が多い。

2016年7週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、8,002例中A型4,278例(53.5%)、B型3,663例(45.8%)、A and B型13例(0.2%)、A or B型48例(0.6%)で、6週と比較するとB型は増加し、A型は減少した。2015/16シーズン合計では、37,330例中A型24,783例(66.4%)、B型12,283例(32.9%)、A and B型77例(0.2%)、A or B型187例(0.5%)であった。

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



2015/16シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数

